

地域社会のサポートを行なう「地元の元気プロジェクト」を全社横断の取組みとして推進しています。本プロジェクトでは、当社の強みを活かしながら、地方自治体や各地域の企業、マスコミ、大学・研究機関、スポーツ団体等と連携のうえ、「豊かな地域づくりへの貢献」をめざし取り組んでいきます。

また、前項の「みんなの健活プロジェクト」と本プロジェクトの取組みを通じ、ブランドイメージ「ひとに健康を、まちに元気を。」の確立をめざしてまいります。

■ 地元の元気プロジェクト

「地元の元気プロジェクト」は、豊かな地域づくりへの貢献や地域への密着を通じて、お客さまが暮らす地域社会に元気をお届けする取組みとして2020年度から新たにスタートしました。当社がこれまでに築き上げてきた「市区町村単位の自治体等との強固な関係」や「Jリーグ等の地域に根ざしたスポーツ団体とのパートナーシップ」、「地域とつながる全国の営業拠点・チャネル等のネットワーク」を活かし、さまざまな地域課題の解決や活性化に取り組めます。

具体的には、地方自治体との協働による地域のみなさまの健康づくりのサポートやお祭りへの支援、地方創生を後押しする取組みを通じて、健康増進や暮らしやすいまちづくりに貢献するほか、Jリーグとの協働による小学生向けサッカー教室等の開催や、地域で応援される若手アスリートの支援など、スポーツを通じた地域社会の活力向上に貢献します。また、全国に広がる営業ネットワークを活かした、サステナブルな地域づくりに貢献する企業等へのサポートなどにより、地域経済の活性化を後押しします。



まちを、みんなで盛り上げよう。

日本には多様な自然や気候、文化を持った個性豊かなまちがたくさんあります。

その一つひとつのまちが元気になることが、日本の元気につながると思います。

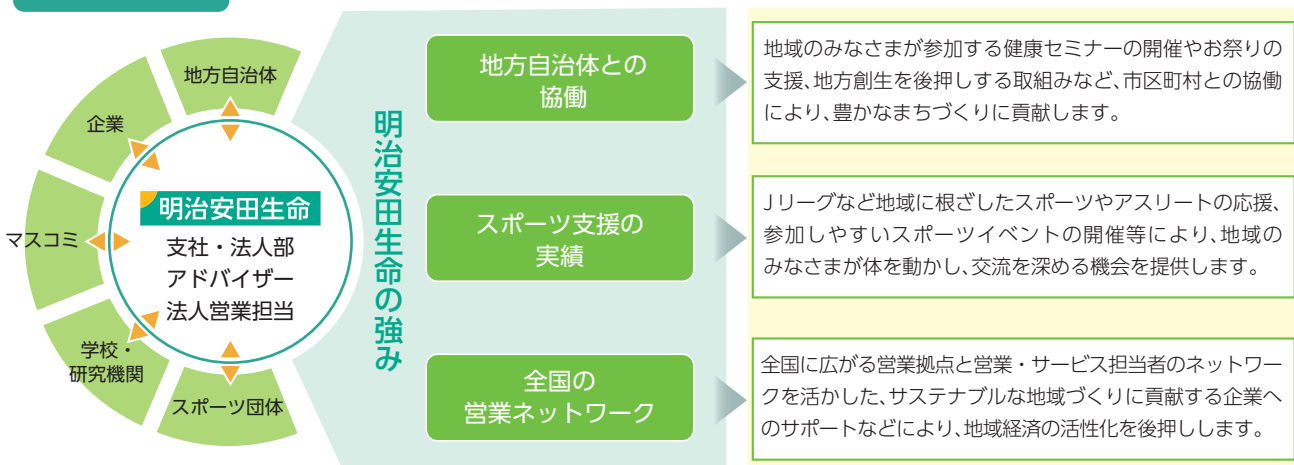
地元をもっと元気にするためには、人が「集まり」、地元が「つながり」、経済が「まわる」、そんな機会や場づくりが必要です。

私たちはその活動を「地元の元気プロジェクト」とよび、Jリーグをパートナーに全国のまちで、

地元のみなさんとお話ししながら、いっしょに汗を流して地元の元気づくりに取り組んでいきます。

みなさんが愛し、誇りに思う地元が、さらに元気で満ち溢れますように。

取組みの概要



■ 地方自治体との協働を通じた貢献

社会から必要とされる価値を創造し、地域の発展に貢献することをめざし、全国各都道府県および地方銀行等と「地方創生に関する包括連携協定」の締結を推進しています。この協定に基づき、地域の健康増進への取組みなど、地域のみなさまが安心して豊かに暮らせる地域づくりに貢献してまいります。2020年3月末現在で、32の都道府県、66の市区町村、4の地方銀行、4の大学と協定を締結しています。

自治体・地方銀行・大学との連携協定



取組事例

【岐阜県川辺町との取組み】

「乳がん検診」前後の時間で女性セミナーを開催

岐阜県川辺町と明治安田生命が締結した連携協定の一環として、川辺町で実施している「乳がん検診」の前後の時間で女性セミナーを開催し、乳がんに対する意識を高めていただく機会を提供しました。

対象の町民の方には、受診案内通知にセミナーのご案内を同封し、当日は検診対象者103人中80人の方にお立ち寄りいただきました。

岐阜県内では、営業拠点を置くほぼすべての市町と連携協定を締結し、地域のみなさんの健康づくりに取り組んでいます。



【福井県三国祭保存振興会との取組み】

三国祭への助成と運営ボランティアを実施

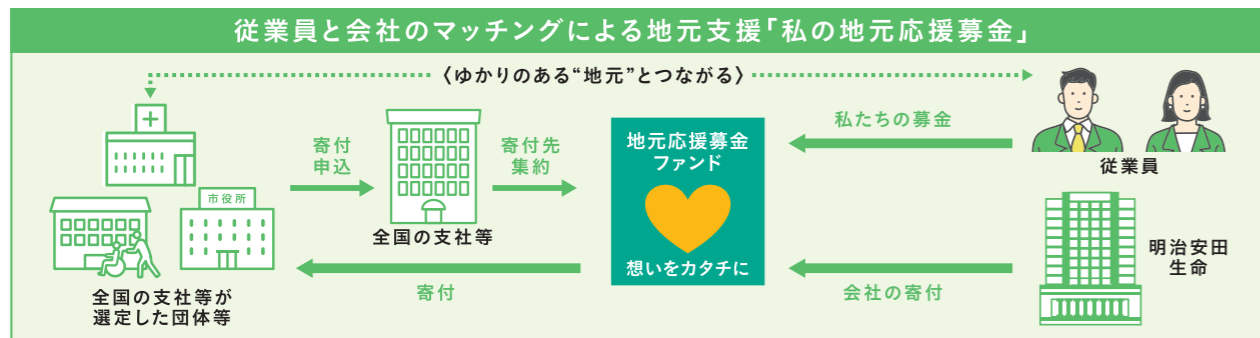
福井県指定無形民俗文化財である「三国祭」を支援しました。

助成金の寄贈とともに、チラシ配布等の広報活動や、当日のうちわ配布やごみ拾いなどの運営ボランティアを実施し、三国祭を盛り上げるお手伝いをしました。



【2020年度の取組み】私の地元応援募金

新型コロナウイルス感染症拡大によって地域社会全体に大きな影響が生じていることをふまえ、全国各地域で支援を必要とする自治体や医療機関、福祉施設等を対象に、従業員による任意の募金と会社寄付をマッチングして行なう「私の地元応援募金」を実施しました。



■ スポーツを通じた貢献

「明治安田生命Jリーグ」の応援と地元Jクラブ等と協力した取組み

公益社団法人日本プロサッカーリーグ（以下、Jリーグ）と当社の「Jリーグタイトルパートナー契約」締結によりスタートした「明治安田生命Jリーグ」は、2020シーズンで6年目を迎えました。全国の支社等がそれぞれ近隣のJリーグ所属の全クラブ等[※]ともスポンサー契約を締結し、当社従業員が地域のみなさまと一体となってスタジアムに足を運び、地元のJクラブ等を応援してきました。

2019シーズンは、当社従業員とその家族およびお客さまをあわせて約38万人（のべ人数）が観戦し、2015シーズン以降のスタジアムでの試合観戦者数が累計で135万人を突破しました。また、地元のJクラブ等と協力し、2019シーズンも「小学生向けサッカー教室」を年間で172回開催するなど、地域に密着した活動を行なっています。

※近隣にJクラブがない場合は、JFL等に所属しているクラブ



社会人向けフットサル大会を開催

2019年度は計735チームにエントリーいただき、全国65箇所での予選大会と9箇所での地区大会を勝ち抜いた10チームが全国決勝大会に集結しました。ご参加いただいた方は、全国で6,748人となりました。



社会人向けゴルフトーナメントを開催

2019年度は全国120箇所での支社大会と15箇所での地区大会を勝ち抜いたプレイヤーが全国決勝大会に集結し、日ごろの腕を競いました。全国決勝大会には当社所属の勝みなみ選手が来場し、参加者にエールを送りました。

ご参加いただいた方は、全国で6,417人となりました。



【2020年度の取組み】地元の元気つなげるサイト

新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりスポーツイベント等の開催が制約されるなか、Jリーグとの新しい協働取組みとして、地元の物産や観光等の魅力を当社とJリーグが協力して発信する「地元の元気つなげるサイト」を開設し、コロナ禍を乗り越える地域社会を応援していきます。



■ 「地域社会との絆」を深めるその他の取組み

「地域を見守る」社会貢献活動について

2014年9月から、営業職員(MYライフプランアドバイザー等)が日々のお客さま訪問活動のなかで、子どもやご高齢者等の様子に変わったことや気付いたことがあれば、警察署・地方自治体の窓口等に連絡し、不測の事態を未然に防ぐ「地域を見守る」社会貢献活動を実施しています。



地域支え合い助成制度

2001年から、一般社団法人全国食支援活動協力会(旧全国老人給食協力会)と連携し、全国の市民参加型の配食サービス、および高齢者の居場所づくりや見守り活動等に資金助成を行ない、地域のコミュニティ形成を支援しています。2019年は全国11の市民団体に助成を実施、過去19年間で196団体へ助成しました。



社内「ボランティア表彰」制度

2009年から、全国各地の事業所ごとに独自に社会貢献活動を推進し、高齢者施設や児童養護施設等への訪問・寄贈、地域清掃、環境保全活動など、地域に根ざしたさまざまな活動を行なっています。年間を通じて特色ある活動を行ない、社会的な信頼を高めた組織を表彰する「ボランティア表彰」制度を設け、従業員の地域・社会貢献活動意識の向上を促進しています。

2019年度表彰受賞組織の活動

【大賞 山口支社】

各市区町村やNPO法人と連携しボランティア活動を実施

山口支社では、Jクラブとの連携や各市区町村の自治体、数多くのNPO法人との協働による活動を展開し、数々のメディアで取材されるなど、当社イメージ向上に貢献するボランティア活動を展開しました。

具体的には、営業所周辺や海岸などで実施している「清掃活動」や、下関市役所と協働で支社近隣花壇の花植えやメンテナンスを行なう「花いっぱい運動」、NPO法人と協働で毎月子ども食堂で調理・配膳・片付けを実施する「えがお食堂よしきボランティア」などを継続的に実施しています。



【優秀賞 山陰支社】

地域の課題解決を目的としたボランティア活動を実施

山陰支社では、高齢化に伴い人手不足となっている地元名産の「干し柿づくりボランティア」や、鳥取砂丘の環境保全のための「鳥取砂丘除草ボランティア」など、地域の課題解決を目的とした活動を継続的に実施しています。さらに、松江玉湯祭りや鳥取お城祭りの実行委員会と連携してお祭りを運営する「地域のまつり運営ボランティア」や、小さな親切財団が主催する「日本列島グリーン作戦」へ参加し、山陰海岸等の清掃活動も実施しています。



※優秀賞は、山陰支社のほか海外事業推進部、明治安田システム・テクノロジーが受賞